

踏切道の視覚障害者誘導対策

堺市 建設局 道路部 道路整備課

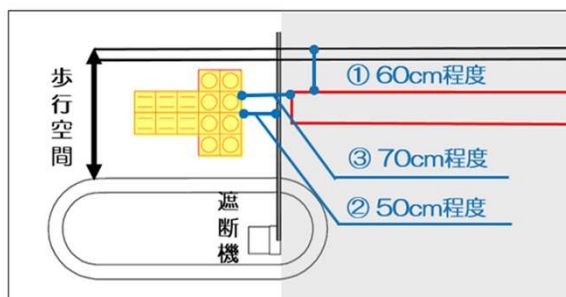


整備の方針

令和4年6月に改定された「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」（以下、ガイドライン）に基づき、歩道等の踏切道手前部に視覚障害者誘導用ブロックを設置し、踏切道内に「表面に凹凸のついた誘導表示」の設置を行う。

整備の方法

- ①「表面に凹凸のついた誘導表示」▶ 歩行空間の端部から60cm程度の位置に設置
- ② 視覚障害者誘導用ブロックと遮断機との離隔▶ 50cm程度
- ③ 視覚障害者誘導用ブロックと「表面に凹凸のついた誘導表示」との離隔▶ 70cm程度



整備の方法については、今後のガイドラインの改定に先立ち、視覚障害者団体や鉄道事業者等と協議を行い定めた。

整備の対象

踏切道手前部に歩道等がある踏切11か所を整備の対象とする。

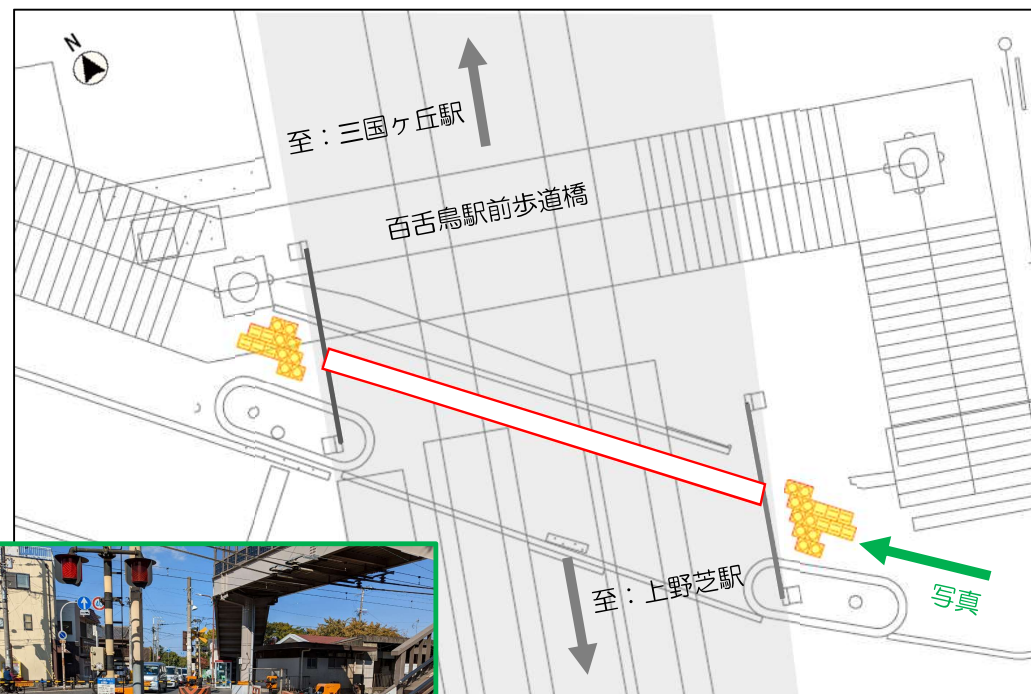
百舌鳥南一（JR阪和線）	金岡南一（JR阪和線）
初芝1号（南海高野線）	堺東2号（南海高野線）
白鷺3号（南海高野線）	大和川3号（阪堺電気軌道）
萩原天神2号（南海高野線）	東湊1号（阪堺電気軌道）
三国ヶ丘1号（南海高野線）	東湊3号（阪堺電気軌道）
百舌鳥八幡1号（南海高野線）	

※ 踏切道手前部に歩道等が設置されていない踏切については、今後の国の動向を注視し、その検討結果を踏まえ関係機関との協議を進める。

整備の進め方

令和5年度に百舌鳥南一踏切の工事に着手し、順次、鉄道事業者等と協議が完了した踏切から整備を進める。

整備イメージ（百舌鳥南一踏切 北側歩道）



※ 凡例

表面に凹凸のついた誘導表示：

鉄道敷地：

